

対象国の条件:

研修コース番号:201984520-J002

案件番号:201984520

主分野課題:ガバナンス/公共安全

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

本研修では、日本の国際テロ対策を紹介するとともに、各国のテロ情勢および対策を共有し、国際テロ対策の諸問題について意見交換を行う。また、都道府県警察本部や警察署を訪問して警察活動の視察を行う。研修終了後には、参加国において日本の国際テロ対策が活用されるとともに、研修を通じて構築された参加者間のネットワークを介して、治安・情報機関での情報交換が行われるようになることを目指す。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

日本警察の国際テロ対策を学び、説明ができるようになるとともに、日本や参加国の間で国際テロに対する協力関係が構築され、情報交換が行われる。

【成果】

1. 参加国の国際テロ情勢及び対策を共有する。
2. 日本警察の国際テロに対する取組みを理解し、説明できる。
3. 参加国間で国際テロに対策の共通課題と国際協力の方向性を共有する。

【対象組織】

国際テロ対策や捜査に携わっている治安・情報機関（国家警察、内務省、情報機関等）

【対象人材】

治安・情報機関で、国際テロ捜査や対策に携わっている、または携わった経験を有する課長クラス相当以上の者

内 容

1. カントリーレポートの発表、発表国の国際テロ対策についての検討
2. 日本警察の国際テロ対策の講義、都道府県警察本部・警察署への視察
3. 国際テロ情勢の講義、国際協力に関する討論

本邦研修期間

2019/11～2019/11

担当課題部

産業開発・公共政策部

所管国内機関

JICA東京（産業公共）

関係省庁

警察庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

警察庁外事情報部

**特記事項
及び
ホームページ**

【特記事項】

1. 適性を満たさない人物の応募は、受け付けられないこともある。
2. JICA事務所又は日本大使館が設定した応募締切日から過去3年以内に国際テロ関連情報の収集・分析、テロ捜査といったテロ対策を担当していた人物の応募については、これを受け付ける場合もある。
3. 本研修は、国際テロ事案に従事し専門的知見を有する職業公務員向けに構成されている。閣僚その他の最高幹部向けではない。

【ホームページ】

警察庁ホームページ（英語）
<https://www.npa.go.jp/english/index.html>